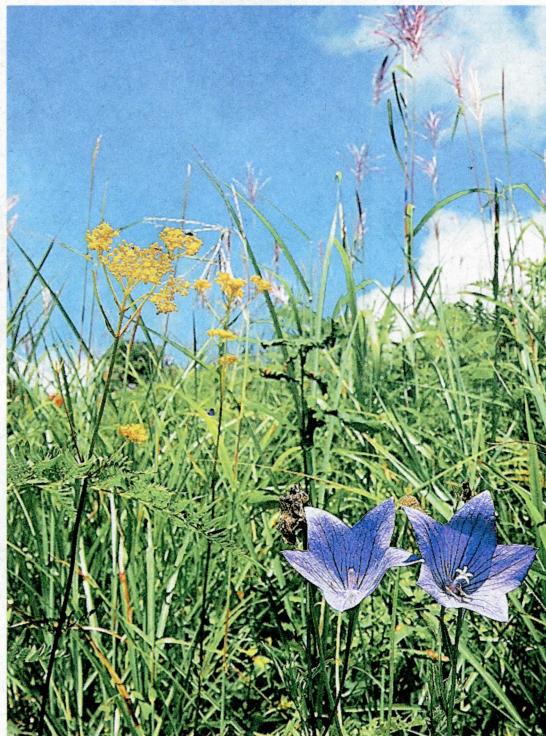


# キキョウが咲く伝統地 今や貴重な風景に



長できず、草の種類が少なくなっていく」とみる。約8年目の放棄地は春からすでに花が咲かない。草はススキやイネドリが優勢だが、前年から立ち枯れたままのススキの株は自身の成長も弱め、草丈を越えて木が成長し草地から森林へ移り変わる途中だ。

またこの時期は、チャマダラセリの2期目の発生時期。伝統地では成虫や卵が確認され、NPO法人日本チヨウ類保全協会(東京都会員約600人)など他団体と調査が重なった。同NPOは、昨年

かづ地権者や地元有志に協力し、伝統地近くの放棄地で草を刈る。同NPOの中村康事務局長によると、へき地的に激減する多種の草原性のチョウの生息地として、30年ほどから開田高原が注目浴びだしたという。「

事務局長は一  
年間に多くの  
墓地で化粧地  
を先人がつ  
いたが、それが  
化粧地の中、長い年  
成立し、続いて  
な動植物の環  
的変化で消  
え。なんとし  
ねば」と話す  
(田中村)

それらの事  
く貢献した会  
立時から役員  
にしてきた会  
対象に表彰し  
協会の全国大  
市で開かれた  
行事は控えた  
同支部は創  
会員は約10  
たが、長引く  
を背景に会員  
現在は約30人  
幸支部長74、  
ロツク

業に大き  
くった文  
化的農業  
月を経てゆ  
きた豊かな  
境が短期間  
消えてゆく  
ても残さ  
。澤佳子)  
業に大き  
員や、創  
として尽  
員などを  
た。来年、  
会が松本  
ることとな  
部主催の  
典などの  
立当初の  
0人だつ  
不況など  
が減り、  
。小林久  
長野市)